

# ニセコ町商工会 経営発達支援協議会報告書

- ◆日 時 令和6年8月7日(水) 12:00~13:00  
◆場 所 ニセコ町民センター 研修室1  
◆出席者

所属・役職	氏名(敬称略)	出欠
北海道信用金庫ニセコ支店 支店長	若林 信吾	欠
ニセコ町商工観光課 課長	馬 渕 由香	出
北海道商工会連合会 組織経営支援部広域支援課 課長	佐々木 健雄	出
北海道商工会連合会 組織経営支援部広域支援課 主幹	久保 耕二	出
北海道商工会連合会 組織経営支援部広域支援課 主事	炭谷 瑞紀	出
ニセコ町商工会 会長 (牧野工業株式会社)	牧野 雅之	出
ニセコ町商工会 副会長(株式会社北海道ライオンアドベンチャー)	下田 伸一	出
ニセコ町商工会 副会長(有限会社丸亀綺羅商店)	松田 拓也	出
ニセコ町商工会 事務局長	大野 幸一	出
ニセコ町商工会 経営指導員	市橋 貴之	出

※ 8月7日の協会で都合がつかなかった北海道信用金庫ニセコ支店の若林支店長からは、8月8日(木) 14:00~15:00に信金ニセコ支店にて個別で評価、意見を伺っています。

## 会長挨拶

昨年度の経営発達支援事業を振り返り、令和5年度事業がより効果的に実施できるよう協議願いたい旨の挨拶

## 議題

### 1. 令和5年度ニセコ町商工会経営発達支援事業実施報告と評価について

項目ごとに事務局から説明、協議会で評価、意見、改善点について協議いただいた。

# 令和5年度ニセコ町商工会経営発達支援事業実施報告と評価について

(各項目の評価 目標値に対して100%以上：A 概ね80%以上：B 概ね50%以上：C 概ね50%未満：D)

## 太文字は伴走型小規模事業者支援推進事業補助金を活用して実施

### I 経営発達支援事業

#### (1) 地域の経済動向調査に関すること

① 中小企業景況調査 (目標：年4回)

- ・会員事業所に対して年4回景況調査を実施、全国、全道の調査報告をフィードバック。対象15事業所(回答実績：12, 14, 14, 15)。
- ・働き方改革意識調査 回答83事業所(配布220) 報告書全会員へ配布

② 観光予報プラットフォームの活用 (目標：年4回)

個別相談時の活用にとどまっている。(例：今夏の宿泊予約は前年実績よりかなり低調)

③ 地域経済分析システム (RESAS) の活用 (目標：年1回)

RESAS、RAIDA データを個別相談時に活用。(例：北海道の旅行消費額 国内客↓外国人客↑)

自己評価：C	協議会評価：C
--------	---------

#### 協議会の評価、意見、改善点

- ・景況調査結果等の経済動向については、ホームページや会報等を活用して広く周知すると良い。
- ・観光予報プラットフォームの活用等(傾向の把握)については、夏と冬の年2回観光客のピークがあるニセコ町の特徴からすると年2回程度で良い。

#### 令和6年度は

- ・中小企業景況調査を四半期ごとに集計、ホームページ等活用して広く周知する。
- ・観光予報プラットフォーム、宿泊予想のデータを分析、提供。
- ・RESAS、RAIDA データ、ニセコ町観光客数入込調査の活用。

#### (2) 経営状況の分析に関すること

① 小規模事業者の経営状況と支援ニーズのアンケート調査 (目標：1回50件) 実施なし

② 経営状況・支援ニーズ等の調査結果を踏まえた経営分析の実施 (目標：20件) 実績18件

#### Shoko Biz クラウド型経営支援ツールを活用した経営分析

- ・小企業等経営改善貸付融資あっせん時における経営状況分析 7件
- ・事業計画策定支援(補助金活用等)における事前の経営状況分析 11件

自己評価：C	協議会評価：C
--------	---------

#### 協議会の評価、意見、改善点

- ・今年度、春に実施した「商工会事業を充実させるためのアンケート調査」(支援ニーズ調査)を秋にも実施して、今期の経営発達支援事業はもちろん、次期(令和7年度以降)の経営発達支援計画にも活かす。

#### 令和6年度は

- ・小規模事業者の経営状況と支援ニーズのアンケート調査(ヒト、モノ、カネ、情報、技術、持続化補助金等施策の活用希望、経営課題)を実施(調査回答目標：50件)
- ・Shoko Biz クラウド型経営支援ツールを活用した経営分析(目標：経営分析20件)

### (3) 事業計画策定支援に関すること

- ① 事業計画策定セミナーの開催（目標：1回15名）
- ・ニセコビジネススクール（ビジネスプラン作成等）（ニセコ町補助金） 14名受講 8日間・延95名
- ② 事業計画の実現可能性を高める経営力強化セミナーの開催（目標：4回60名）
- ・副業人材活用セミナー（㈱リクルートと連携） 1回6名
  - ・Google ビジネスプロフィール活用セミナー（働き方改革推進支援助成金活用） 2回11名
- ③ 伴走支援による事業計画の策定（目標：15件）
- ・専門家派遣による事業計画策定支援（診断士協会専門家派遣事業活用） 1件2回
  - ・オンライン創業相談（日本政策金融公庫小樽支店と連携） 2件
  - ・その他各種補助金等施策活用による事業計画策定支援 11件

自己評価：B

協議会評価：B

協議会の評価、意見、改善点

- ・事業計画策定支援については、これまで同様に進めていただきたい。

令和6年度は

- ・ニセコビジネススクールの開催
- ・経営力強化セミナーの開催（創業フォローアップセミナー、**DXセミナー**）
- ・事業承継計画策定支援（事業承継引継ぎ支援センターと連携）
- ・伴走支援による事業計画の策定（目標：15件）

### (4) 事業計画策定後の実施支援に関すること

① フォローアップ（目標：15件90回）

事業計画を実施するための資金調達・補助金活用等

- ・ものづくり補助金（経済産業省） 申請支援1件 採択1件
- ・ニセコ町にぎわいづくり起業家等サポート事業補助金 1件
- ・中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援補助金（北海道） 申請支援6件 採択4件
- ・宿泊業環境整備緊急対策事業支援金（北海道） 申請支援2件 採択2件
- ・宿泊施設、観光施設等における省エネ設備等導入支援金（観光庁） 申請支援1件 採択1件
- ・事業計画策定後の資金調達として融資斡旋 マル経1件、マル普2件

その他、専門家派遣によるフォローアップ

- ・新商品開発に係るパッケージデザイン（事業環境変化活用） 1件2回
- ・IT活用によるDXの推進（SNS戦略）（むらおこし事業活用） 1件1回
- ・ブランディングによる販売力強化（むらおこし事業活用） 1件1回

計83回

自己評価：B

協議会評価：B

協議会の評価、意見、改善点

- ・きめ細かなフォローアップを望む。

令和6年度は

- ・事業計画を策定した事業者を対象にフォローアップ（目標：15件、90回。うち経常利益3%以上増加5件）
- ・高度な知識を要する場合は、専門家派遣による実施支援

## (5) 需要動向調査に関すること

- ① 観光客ニーズ調査（目標：1回）
  - ・デジタルグルメガイドマップ活用による動向調査
- ② 新商品等マーケティング調査（目標：1件、1品目） 実績なし
- ③ 物産展でのマーケティング調査（目標：1件50人以上）
  - ・北海道味覚マルシェin札幌(展示即売会) 1社1品 (購入者アンケート 道連実施)
- ④ 展示商談会でのマーケティング調査（目標：1件2品目20社以上）
  - ・北の味覚再発見 1件1品 バイヤー10選に選出

自己評価：C

協議会評価：C

### 協議会の評価、意見、改善点

- ・需要動向（グルメガイドマップのアクセスから見える動向など）についても広く周知。
- ・今夏の観光客の動向として、「ニセコは高い」「ニセコ価格」といった情報が飛び交っているためなのかは不明だが、観光客の入込は低調。

### 令和6年度は

- ・デジタルグルメガイドマップ活用による観光客動向調査。
- ・新商品等マーケティングについては、観光協会と連携して道の駅の活用検討。

## (6) 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

- ① 展示商談会への出展支援（目標：2件）
  - ・北の味覚再発見！ 1件
  - ・東急百貨店との個別商談会（北海道信金） 1件
- ② 物産展への出展支援（目標：2件）
  - ・北海道味覚マルシェin札幌(展示即売会) 1件
- ③ アンテナショップの活用支援（目標：2件2品） 実施なし
- ④ SNSを活用した需要開拓支援（目標：3件）
  - ・google ビジネスプロフィール登録支援（働き方改革推進支援助成金活用） 56件

自己評価：B

協議会評価：B

### 協議会の評価、意見、改善点

- ・人的余裕がないと、物産展や商談会に出かける人的余裕がない事業者も多い。
- 多くの観光客が訪れる道の駅が地元にあるので、新商品のテスト販売など活用を検討。

### 令和6年度は

- ・後志振興局主催による商談会等への出展支援
- ・google マイビジネス（ビジネスプロフィール）のオーナー登録後の活用推進

## II 地域経済活性化に資する取組

- ① ニセコ町地域活性化協議会（仮称）の開催
  - ・開催なし
- ② 産業間連携により域外需要を獲得する取り組み
  - ・デジタルグルメガイドマップ（多言語対応）作成事業（宿泊施設等にQRコード配布）
- ③ 商店街にぎわい創出により域内循環を高める取り組み
  - ・物価高騰対策「ニセコ町家計支援商品券」配布事業（ニセコ町連携）
  - ・綺羅キラ市、綺羅キラスタンプラリー（秋、春）
  - ・大人のニセコ探検！（店主等講師によるミニ講座）（むらおこし事業活用）  
1回目 8店 13口座 61名参加 2回目 10店 15講座 79名参加 3回目 10店 16講座 64名参加
  - ・ニセコ綺羅カード会（ポイント事業、子育て支援、朝市等）
- ④ 全産業の共通課題「人材不足の解消」に向けた取り組み
  - ・無料職業紹介事業 求人 35事業所 239人の求人、8人の求職申込、4人の就職
  - ・副業人材活用セミナー（㈱リクルートと連携） 1回 6名（再掲）
  - ・新たに職員 3名が職業紹介責任者

自己評価：B

協議会評価：B

### 協議会の評価、意見、改善点

- ・10年くらい前までは、農協、商工会、役場担当課で月1回、情報交換の場があった。
- ・ニセコ町地域活性化協議会（農・商・観の連携）は、具体的な課題を掲げて集まる意味を持たせるところからスタートか。  
→ 労働力（夏は農家、冬は観光）のシェアや、地元農産物の観光消費へなど

### 令和6年度は

- ・農商観連携の下地づくり
- ・商店街にぎわい創出により域内循環を高める取り組み（綺羅キラ市、スタンプラリー、朝市等）
- ・デジタルグルメガイドマップ活用による域外需要の取り込み
- ・地域事業者の「人材不足の解消」に向けた事業の推進

### Ⅲ 支援能力向上のための取組

#### ① 金融機関との連携強化

北海道信金ニセコ支店及び日本政策金融公庫小樽支店との担当者との情報交換  
日本政策金融公庫小樽支店と連携によるオンライン創業相談会の開催（再掲）

#### ② 羊蹄山麓商工会広域連携協議会での情報交換

経営指導員連絡会議等での情報交換

#### ③ 北海道よろず支援拠点や北海道中小企業総合支援センターとの連携強化

実績なし

#### ④ 各職員の自己研鑽による支援能力の向上

Off-JT による研修会へ参加

#### ⑤ 専門家派遣に同行して高度な支援ノウハウを取得

専門家派遣（中小企業診断士）時に同行し支援ノウハウを取得

#### ⑥ 職員間の情報共有による支援能力の強化

支援データの共有

自己評価：B	協議会評価：B
--------	---------

協議会の評価、意見、改善点

- ・少ない職員で経営発達支援事業を実施しているので、外部専門家の活用はもちろん、職員一人一人のスキルアップは重要。

令和6年度は

- ・金融機関との連携強化
- ・羊蹄山麓商工会広域連携協議会での情報交換
- ・よろず支援拠点や中小企業総合支援センター、北海道事業承継・引継ぎセンターとの連携強化
- ・各種研修会への参加、WEB研修の受講による各職員の自己研鑽による支援能力向上
- ・専門家派遣に同行して高度な支援ノウハウを取得
- ・職員間の情報共有による支援能力の強化